事例No.	1105
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	愛知県東栄町

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	間伐や路網整備等の取組

事例内容・タイトル

里山林の整備や境界明確化の推進

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

愛知県　東栄町（里山林の整備や境界明確化の推進）

- 東栄町の森林は町の総面積の９割を占め、高齢化が進み、間伐等による山林の管理も十分行われていない状況にある。放置された里山林が集落へ及ぼす環境悪化や道路の円滑な通行等の妨害、鳥獣による被害の助長などを防止するため、森林環境譲与税を活用した森林の更新や森林境界明確化事業の作業を進め、里山林の環境整備につなげた。
  - 里山林の伐採・集積作業への補助制度を創設することにより、公道等の周辺や集落に近接した有害鳥獣の接近を誘発すると考えられる植林地において、新たに1.99haの伐採・集積を支援した。
  - 山林境界明確化事業により、新たに109.1 haの範囲の山林境界確認を行い、森林整備の効率化を図ることができた。
- 令和２年度においては、新たに森林経営管理システムを導入し、施業履歴や航空レーザー計測図等を取り込み、意向調査に向けた準備作業を進める。

□　事業内容

1　伐採・集積等の森林整備への支援（里山林環境整備事業等）

- 町内の里山林において立竹木の伐採（皆伐）及び集積を伴う作業に要する費用と、林内環境の整備等のための搬出に係る費用の一部を補助（伐採後の植樹については、別途、県の補助事業を活用し実施）。

【事　業　費】4,995千円（全額譲与税）

【実　　績】伐採面積（植樹面積）　1.99ha、搬出補助1,154.166㎥

2　森林所有者の山林境界明確化を実施（境界確認明確化事業）

- 森林の境界を現地で調査し、明確化するため、森林所有者との立会や杭打ちを行い、施業区域の測量を実施。

【事　業　費】1,919千円（全額譲与税）

【実　　績】調査面積　109.1ha



（事業１：里山での伐採の様子）



（事業２：境界明確化調査の様子）

□　事業スキーム

1　伐採・集積等の森林整備への支援（里山林整備事業）

東栄町 → 決定・申請・報告 → 所有者 → 依頼 → 森林組合等

2　森林所有者の山林境界明確化の実施

東栄町 → 委託 → 森林組合 → 調査 → 所有者

□　工夫・留意した点

- １の事業においては、森林組合等と連携し、里山林の整備を進めるとともに、伐採後の林地残材を減らす取り組みを民間団体と協働で進める。
- ２の事業においては、今後の林業施業の効率化に向け、境界明確化を進めるとともに、GPSデータの収集を含めた調査を実施。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	18,081千円
②私有林人工林面積（※１）	9,060ha
③林野率（※２）	90.7%
④人口（※３）	3,446人
⑤林業就業者数（※４）	51人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」